

令和5年度 磐田市立岩田小学校 学校評価書

\*「A=かなり当てはまる B=まあ当てはまる C=あまり当てはまらない D=ほとんど当てはまらない」として各自が評価

重点	目標・取組	評価指標(教師側の表現)	自己評価	A+Bの%	考察・改善策	学校関係者評価委員から	備考
夢をもち、共に輝き、 【知】	<b>☆脳みそに汗をかく授業</b> ・教科の「見方・考え方」に基づく授業構想 ・「めざす授業」共有 ・表現力・メタ認知能力育成 ・ICTの効果的活用(技能・モラル) ・個別最適化と協働的な学びの実現(個人・ペア・集団) ・感受性の向上(読書、芸術)	1 子どもは、授業の内容がよく分かっている。	児童 保護者 教員	93 87 89	○「脳みそに汗をかく授業」を合言葉に、教科の「見方・考え方」に基づく授業構想をめざした。評価指標の項目3「子どもは、分からないことをそのままにしないで、教師に聞いたり、自分で調べたりして学習している。」では、児童の評価は86%うちA評価は40%と目標に到達することができなかった。多くの子が深い学びを実感しているとは言いがたい。今後も主体的に学ぶ力の育成のための手立てを工夫する必要がある。 ○項目6「子どもは、友達の話をつかろうとして聞いたり、分かってもらおうとして話したりしている。」では、児童評価は94%と昨年度より2ポイントであるが伸びがみられた。対話による「聞く力」や「伝える力」を意識し、進んで学びを深めようとする意識の向上がみられた。 ○タブレットの活用による個別最適な取組も工夫がみられ、成果が上がり始めている。効果的な動画視聴による知識・技能の習得や個々の興味関心を生かした調べ学習や反復練習にも効果がみられた。今後も継続して、思考・判断・表現力の育成に力を注ぎ、学びの深まりに努めるようにする。	・児童評価をみると、「授業の内容がよく分かっている」「授業が楽しいと思っている」が高評価にあり、安心感がある。 ・職員が個々の特性を知り、寄り添い、しっかり学びを深める子に導いてくれている。 ・分からないことをそのままにしないで、進んで聞いたり、調べたりすることが児童の中に定着していることが嬉しい。 ・理解力を深めるために、子供たちには、宿題でドリル学習などをたくさんさせるとよい。 ・教室での授業以外にも校外に出て行う学びを今後も続けていくことがよい。	磐田市 共通
		2 子どもは、授業が楽しいと思っている。	児童 保護者 教員	96 88 100			
		3 子どもは、分からないことをそのままにしないで、教師に聞いたり、自分で調べたりして学習している。(90% うちA評価50%)	児童 保護者 教員	86 62 78			
		4 子どもは、自信をもって自分の考えや気持ちを発言している。	児童 保護者 教員	68 73 78			
		5 子どもは、外国語活動の授業が楽しいと思っている。	児童 保護者 教員	94 87 100			
		6 子どもは、友達の話をつかろうとして聞いたり、分かってもらおうとして話したりしている。(95%うちA評価55%)	児童 保護者 教員	94 100 100			
『あい』があふれる児童・生徒 【徳】	<b>☆協働的な体験</b> ・行事への取組(運動会、大樹祭) ・岩っ子輝き賞 ・スピーチ集会 ・温かで耕された学級集団 ・縦割り活動 ・規範意識と自浄作用 ・多様性尊重	7 子どもは、学校に楽しく通っている。	児童 保護者 教員	94 97 100	○本年度は、150周年という節目の年であった。認め合い高め合う人間関係作りのために、運動会と大樹祭(学習発表会)の2大行事を中心に協働的な体験に力を入れた。運動会における校技の一輪車を取り入れた集団演技では、学年の発達段階に応じた表現ができた。また、大樹祭においては、学習の成果を十分に生かした、のびのびとした表現力を培うことができた。項目7「子どもは、学校に楽しく通っている。」は、児童94%保護者97%と高い評価を維持している。また、項目8「学級や学校には、お互いにルールを守り、協力する雰囲気がある。(91%うちA評価47%)」では、数値目標に達することができなかった。様々な場面で、規律を重んじ、協力し合うことの大切さを指導したい。 ○認め合い体験活動には取り組んでいるものの、項目11「友達の良さに気付き、自分も取り入れようとしている。」では、児童83%保護者86%と自己肯定感の高まりが十分ではない。今後も、自信を育むような取組を継続し、教師の賞揚の声掛けを増やしていく。	・この地域の子供たちは、本当に思いやりが育っている。 ・よい伝統を感じている。 ・助け合いができていと思う。これからもサポートし合い、高め合っていってほしい。 ・横のつながりだけでなく、縦のつながりもあっていい仲間づくりができていと感じる。 ・友達の良さに気付き、認め合う子を育てるのは難しい。下級生が上級生を目標とする縦割り活動の充実が、自分理解を深める手助けとなる。	磐田市 共通
		8 学級や学校には、お互いにルールを守り、協力する雰囲気がある。(90%うちA評価50%)	児童 保護者 教員	91 93 100			
		9 子どもには、学校に相談できる人がいる。	児童 保護者 教員	88 85 89			
		10 子どもは、家庭や地域で進んで挨拶をしている。	児童 保護者 教員	93 85 78			
		11 子どもは、友達の良さに気付き、自分も取り入れようとしている。(90%うちA評価50%)	児童 保護者 教員	83 86 100			
		12 自分は、子どものことを理解し、指導にあたっている。	児童 保護者 教員	90 95 100			

心も体も健やかな子 【体・心】	★目標に向かうたくましさ  ・一輪車(技能・協力・表現力) ・体力アップ(各種運動) ・基本的な生活習慣確立(早寝早起き朝ごはん・メディアコントロール) ・家族や地域を愛する心 ・しなやかな心(レジリエンス)	13	子どもは、自分に合った目標を立て、自分から運動に取り組んでいる。(90%うちA評価60%)	児童 保護者 教員	86 77 89	○朝マラソンや短縄跳び大会に向けて、目標を立てて取り組む児童はいるものの、学校全体としてみた時には、あまり多いとは言えない。項目13「自分に合った目標を立て、自分から運動に取り組んでいる。」で、目標に到達することができなかったことから分かる。今後は、自分に挑戦する意識を高める指導に重きをおきたい。 ○本校の特色の一つである一輪車チャレンジは様々な効果をもたらしているが、項目16「子どもは、失敗したり、上手くないことがあっても気持ちを切り替えて前向きにチャレンジすることができる。」では、児童83%保護者65%と前向きにチャレンジする姿勢が十分ではない。互いに高め合う集団の雰囲気づくりに力を入れたい。 ○今後も、規則正しい生活を心掛けさせ、メディアとも上手に付き合いながら、心も体も健やかな子の育成を目指したい。	・一輪車や縄跳び記録会では、自分で目標を立て練習する姿がみられる。挑戦した結果として記録が残るよい手立てだと思う。一体校でも生かすことができればと思う。 ・目標を高くもって、さらに向上心や競争心をもって臨めば達成感をもっと味わえるのではないかと思う。 ・広い運動場、一輪車、元気に走り回る子供たちの多さに驚かされる。素直で、素朴な子供たち。一体校に向けてもこの良さを生かしていきたい。	
		14	子どもは規則正しい生活を心掛けている。(90%うちA評価50%)	児童 保護者 教員	84 64 100			
		15	子どもは、自分に合った目標を立て、健康で安全な生活を送っている。	児童 保護者 教員	87 77 89			
		16	子どもは、失敗したり、上手くないことがあっても気持ちを切り替えて前向きにチャレンジすることができる。(90%うちA評価50%)	児童 保護者 教員	83 65 89			
開かれた学校	○信頼にこたえる  ・向陽学府小中一貫教育 ・コミュニティ・スクール(地域と目標・育ちを共有)	17	子どもは、今住んでいる地域の歴史や自然について関心がある。	児童 保護者 教員	77 66 100	○本年度は岩っ子サポーター(学習・環境整備ボランティア)を募集し、子供たちの学習を充実させることができた。本校の強みである、生活科・総合的な学習の時間を柱に地域とつながり、子ども同士や地域の人・もの・こととつながる学習を推進することができた。岩田故郷の会や農林環境専門職大学院、天竜川漁協など多くの機関と連携を継続して学びを深めた。 ○合言葉である「『志をもち、進んで考動する子』」に育ってきている。(90%うちA評価50%)」については、児童の意識は高まりつつあるものの個別の手立てが必要であると考え	磐田市 共通	
		18	学校で目指そうとしている子どもの姿や教育方針について知っている。	児童 保護者 教員	83 100		磐田市 共通	
		19	子どもは、「志をもち、進んで考動する」子に育ってきている。(90%うちA評価50%)	児童 保護者 教員	87 80 100			